

2020年10月25日

認知症介護研究・研修東京センター
永田 久美子

「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」

制定記念シンポジウム

第1部：世田谷区の「希望条例」のねらいとこれから

本人参画と協働

～みんなが希望を持って、ともによりよく暮らしていく「鍵」～





このまちで暮らしている
このまちを舞台に



世田谷区

一人ひとりの暮らしがある。

人口 92万人+





出会い・つながり
結婚・子育て

健康・暮らし・成長
学校・学び 仕事・収入
環境・防災・防犯

生きるよろこび・生きがい
障害・支援・介護・医療
その他

一人ひとり、様々な課題を持ちつつ、暮らしている



出会い・つながり
結婚・子育て

健康・暮らし・成長
学校・学び 仕事・収入
環境・防災・防犯

生きるよろこび・生きがい
障害・支援・介護・医療
その他

認知症

すべての人が、認知症と関わりがある
認知症は、お互いのよりよい暮らし、地域をつくる重要なテーマ



出会い・つながり
結婚・子育て

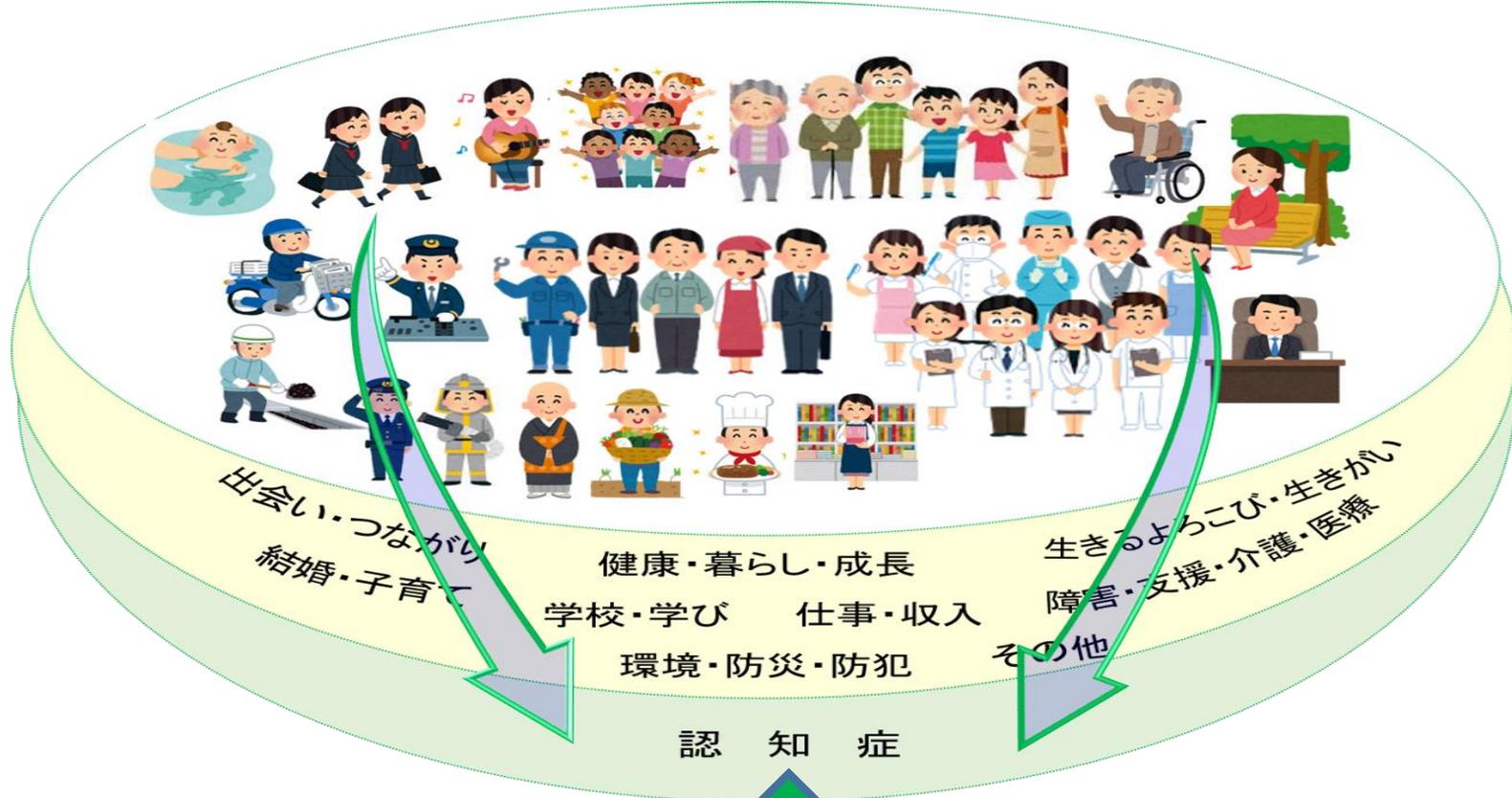
健康・暮らし・成長
学校・学び 仕事・収入
環境・防災・防犯

生きるよろこび・生きがい
障害・支援・介護・医療
その他

認知症

みんなの挑戦課題

認知症とともに、私たちがどう暮らしていくか？？？



みんなの挑戦課題

認知症とともに、私たちがどう暮らしていくか???

道標「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」

- ★ 個々バラバラの努力ではなく、力をあわせて、いっしょに
- ★ その場しのぎではなく、お互いの未来のために、持続発展的に

全区民が
自分らしく生きる希望を持って
意思と権利が大切にされ
安心して暮らし続けられる
地域共生社会

★安心して
認知症になれる
世田谷に



世田谷区 90万人以上！

出会い・つながり
結婚・子育て
健康・暮らし・成長
学校・学び 仕事・収入
環境・防災・防犯
生きる・生きがいよろこび
障害・支援・介護・医療

認 知 症

世田谷区
認知症と
ともに生きる
希望条例

希望条例を活かして、みんなが同じ方向を目指し、
一人ひとりの力を結集しよう！



全区民が
自分らしく生きる希望を持って
意思と権利が大切にされ
安心して暮らし続けられる
地域共生社会

★安心して
認知症になれる
世田谷に

世田谷区
認知症と
ともに生きる
希望条例

方針

- 従来の認知症観の転換：全区民が希望を持てる考え方に
- 一人ひとりが、備えよう
- 一人ひとりの意思・人権を大切に：あたりまえの暮らしを守る
- 互いの思い・希望を大切にしあい、ともに生きるパートナーに

★ 本人が参画し、本人がともに（本人参画・協働）

認知症についての考え方を、刷新しよう

古い考え方

- 他人事、自分に関わりない
- わからない、できない
- 不可解な言動をし周囲が困る
- 思いがない、周りが決める
- 地域の中で暮らせない
隠す、地域から遠ざかる
- 支えられる一方
- あきらめ、暗い、絶望的

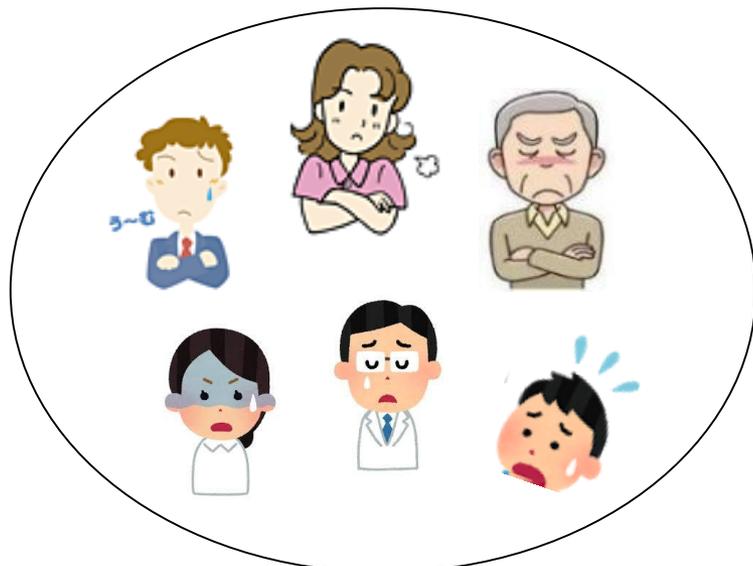


★新しい考え方

- 自分ごと、自分も関りある
- わかる、できることがある
- 本人なりのワケがある
配慮ない環境で本人が困っている
- 思いがある、自分（本人）が決める
- 地域の中で暮らし続ける
オープンにする、地域とともに
- 力を活かして活躍、支え合う
- あきらめず、前向き、**希望を**

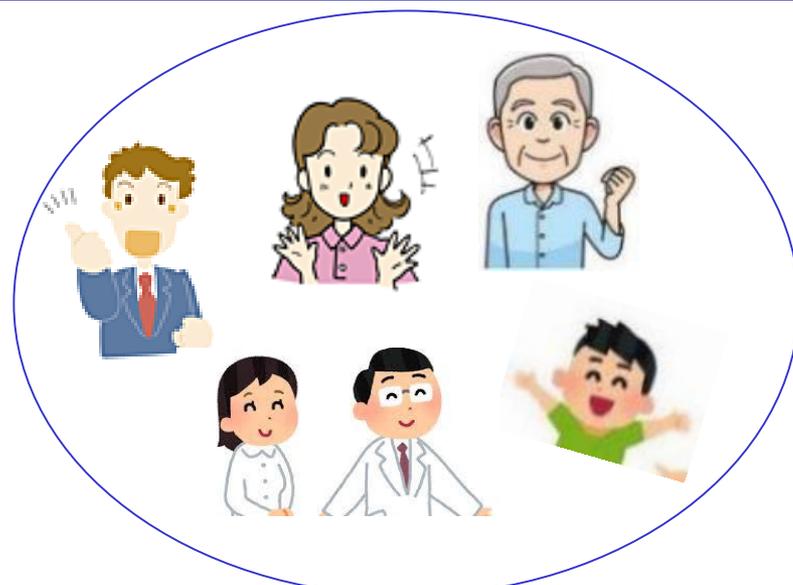
一人ひとり（区民、専門職が、行政職員等）みんなが考え方を変えることが
暮らしと地域をよりよく変えていくための大切なジャンプボード

現 状 : 古い考え方から抜け出せず、絶望の悪循環に陥って
お互いに苦しんでいる残念なに状況が日々起っている



絶望の悪循環

他人事、問題重視、社会から疎外
後ろ向き、暗く、楽しみなく、ピリピリ
⇒お互い消耗、対立、孤立
⇒状態悪化、互いの力が削がれる
⇒互いの苦悩・負荷増幅、世代間対立
⇒若い世代含め社会全体があきらめ感



希望の良循環

本人視点、可能性重視、共生
前向きに、楽しく、伸びやかに
⇒お互い伸び伸び、仲良く、つながり
⇒状態安定、互いの力が伸びる
⇒互いが楽に、負荷最小化、世代融合
⇒若い世代含め社会全体が希望持てる

条例を活かして、絶望の悪循環から抜け出し、希望の良循環みんなで

条例を絵にかいた餅で終わらせないための鍵は・・・

★ 本人が参画し、本人がともに（本人参画・協働）



本人が
話合いや決め事の際や
地域の様々な場に
参画しながら
希望を持ってともに暮らす
可能性を広げています

人は、認知症になってからも、自分らしく生きる力を豊かに秘めている

★ 本人参画・協働を通じて、今、各地で起きていること

★ 本人が、語り動くリアルな声と姿に触れることでみんなの考え方が大きく変わる！

★ 他人事ではなく自分事として考え、希望を持ちながら備える人たちが増える

★ あたりまえに暮らすことのかげがえのなさに気づき日々の（小さな）希望を大切にすることが増える

★ 地域の中で本人とともに歩いていくパートナーが増える

★ 本当に必要なことは何かを本人から教わりながら、関わり・支援・施策の改善が進む



★ よりよく生きていける可能性が無数にあることを具体的に気づける。

★ 認知症バリアに気づけ暮らしやすいまちづくりが着実に進む

★ 立場や世代を超えて希望を語り合えるつながりや支え合いが進化・深化する

★ 地域の中で自分らしく生き活きと暮らし続ける人が増える
(本人、家族、地域の人、専門職、若者、障害のある人他)
希望の良循環が地域全体に広がる

★ 希望のある地域共生が自然体で育っていく



「世田谷区認知症とともに生きる希望条例」

この町の一人ひとりに伝え、語りあい
希望のある自分らしい日々を
いっしょに、つくっていこう

本人を
抜きにせずに

息長く